

日本宗教学会

第 84 回学術大会

2025 年 9 月 14 日(日)～16 日(火)

会場：上智大学 四谷キャンパス

[録画発表部会：9 月 14 日(日)～23 日(火・祝)]

主催：日本宗教学会第 84 回学術大会実行委員会（上智大学）

お知らせとお願い

1. 受付手続きの際、名札用のケースと用紙を受け取り、会場では常に名札をつけてください。
受付では名札用のケースとともに大会名のみが書かれた名札の用紙を配布します。氏名の記載は参加者自身で行なってください。所属先の記載は任意とします。
名札は大会参加費納入済みであることを示すため、会場内では必ず、見える位置につけてください。
2. 理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。
プログラムと同一にしてください。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においでください。
4. 発表時にパソコン用プロジェクターを使用する方へ
4頁「パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意」をお読みください。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡しください。
会場での複写は受け付けません。
6. 発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。
 - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）
 - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保ください。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
10. 『宗教研究』別冊用要旨について
18頁『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意に従って作成し、9月21日（日）までに、編集委員会に送信してください。
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて、編集委員会に送信してください。
11. 会場の配置については、19頁をご覧ください。
12. 録画発表部会の詳細については、参加申込者に送られるご案内をご覧ください。

大会受付	9月14日（日）	10号館1階ロビー
	9月15-16日（月祝・火）	2号館4階ロビー
大会実行委員会本部	9月14日（日）	10号館1階ロビー
	9月15-16日（月祝・火）	2号館4階413教室
荷物置き場（自己管理）	9月14日（日）	10号館1階ロビー
	9月15-16日（月祝・火）	2号館4階412教室
会員休憩場所	9月15-16日（月祝・火）	2号館4階ラウンジ（401-415教室の前）

大会日程

9月14日（日）

理事会	10号館1階 講堂	11：00－12：00
開会式・公開シンポジウム	10号館1階 講堂	13：20－16：30
評議員会	10号館1階 講堂	17：00－18：00

9月15日（月・祝）

研究発表（個人）	2号館4階 各会場	9：00－12：40
研究発表（個人・パネル）	2号館4階 各会場	13：30－15：30
会員総会	6号棟3階 307教室	15：50－17：10
交流会	2号館5階 学生食堂	17：30－19：00

9月16日（火）

研究発表（個人）	2号館4階 各会場	9：00－12：40
* 男女共同参画・若手研究者 支援委員会 情報交換会	2号館4階 411教室	12：45－13：25
研究発表（パネル）	2号館4階 各会場	13：30－15：30

* 男女共同参画・若手研究者支援委員会 情報交換会

日時	2025年9月16日（火）12：45－13：25
場所	2号館4階411教室
開催形式	対面開催 また、録画発表部会の質疑応答用 Slack（9月7日（日）～9月23日（火・祝））にも 当委員会「情報交換会」チャンネルを設置しています。
対象	本学会の会員
参加人数	最大30名程度
事前登録	不要
内容	男女共同参画・若手研究者支援に関する情報交換会を開催します。 本学会の会員であれば誰でも出席できますので、奮ってご参加ください。 本学会における活動で困っていること、改善して欲しいこと、本学会における男女 共同参画・若手支援に関して期待すること、についてグループに分かれて情報交換 したうえ、全体共有をします。

大会実行委員会からのお知らせ

ご参加いただくにあたり、事前に下記についてご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

- (1) キャンパスマップ、会場へのアクセスマップは 20 頁、21 頁をご覧ください。
- (2) 自家用車での来場はご遠慮ください。
- (3) スーツケース等の荷物置き場は用意いたしますが、管理者は配置しません。ご自身で置き、自己責任で管理・回収願います。貴重品・衣服の取り扱いには十分ご注意ください。万が一、回収をお忘れになった場合、着払いでの送付には対応いたします。
- (4) 大学食堂及び学内のコンビニエンスストアは、土日は営業しておりません。駅前に飲食店街やコンビニエンスストアがあります。また、駅前のビル「コモレ四谷」地下 1 階にスーパーマーケット「LIFE」があります。ラウンジおよび 2 号館・6 号館教室では、飲食が可能です。10 号館講堂での飲食はお控えください。
- (5) 会場にはコピー機の用意がありませんので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。
- (6) Wi-Fi の提供はありませんが、Eduroam のアクセス権をお持ちの方は利用可能です。
- (7) キャンパス内は禁煙です。ご協力をお願いします。
- (8) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページの「大会実行委員会特設サイト」を通じてお知らせします。
- (9) 大会前日及び期間中に緊急に連絡する必要がある場合、下記にメールでお知らせください。

第 84 回学術大会実行委員会 jars84th(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

会場となる教室にはプロジェクター類が設置されています。使用する方は、以下の注意を熟読してください。

プロジェクター類を使用する場合は、必ず、各自でパソコン等を持参してください。持参されない場合、プロジェクター類の使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するプロジェクター類は、HDMI のみに対応しています（プロジェクター類からは下図のようなケーブルが出ていますので、持参したパソコン等に差し込んで使用してください）。

これ以外の接続方式や端子（VGA、DVI、USB、Lightning など）には対応していません。

また、会場には HDMI への変換アダプター等の用意ありません。変換アダプター等は必要に応じて各自ご持参ください。



なお、会場スタッフは接続等に関してサポートすることができません。あらかじめご了承ください。

第 84 回学術大会実行委員会

公開シンポジウム

大学で宗教(学)を教える

趣 旨

私たち宗教研究者の多くは、同時に宗教(学)を教える営みにも日々携わっている。宗教概念や宗教言説が多様に批判的に検討された現在でも、その教育の営みは続いている。

宗教概念が歴史的・文化的に規定され、私たちを規定してきた経緯を振り返ると、特定の宗教に関わらない者にも、関わる者にも、「宗教」について自覚的であることは、一定の意義があると考えられる。にもかかわらず、宗教学も分類される人文・社会科学は、現在の教育行政の中では重きを置かれにくく、教育現場での困難を生み出す一要因となっている。

特定宗教の信者を育てる宗派教育と、時に近づき時に距離を取りつつ、「宗教学」を学問的な知識として教えることにはどのような意義があるか。現在、宗教文化士の養成に代表されるような、「宗教(学)」を大学で一般教養として教えることにはどのような課題があるか。そして、その教育はどのような社会的要請と結びついているのか。研究者あるいは教育者を目指す学生に対して宗教学を教える際の課題はなにか。教員はなにを伝えたいと思い、それをどのように、そしてどのような教材によって、伝えようとしているのか。いっぽうで、学生・院生の側が宗教学に期待するものはなにか。「宗教学」によって、あるいは「宗教」によって、学ぶ者はなにかを得られているのか。これらを問うてみたい。

シンポジウムでは、現場で培われた問題意識も含めて大胆に語っていただき、宗教学の置かれた現在地を明確に認識するとともに、その将来性をも描写していきたい。

日 時 2025年9月14日(日) 13:20-16:30

会 場 上智大学四谷キャンパス 10号館1階 講堂

次 第	趣旨説明	佐藤 啓介(上智大学教授)
	第1報告	平藤 喜久子(國學院大學教授)
	第2報告	徳野 崇行(駒澤大学教授)
	第3報告	岩田 文昭(大阪教育大学名誉教授)
	コメント	藤原 聖子(東京大学教授)
	司会	佐藤 啓介

登壇者紹介

平藤 喜久子／ひらふじ きくこ（國學院大學教授）

学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了。博士（日本語日本文学）。『神話学と日本の神々』（弘文堂、2004年）、『よくわかる宗教学』（ミネルヴァ書房、2015年共編著）、『ファシズムと聖なるもの／古代的なるもの』（北海道大学出版会、2020年編著）、『現代社会を宗教文化で読み解く—比較と歴史からの接近』（ミネルヴァ書房、2022年共編著）、『〈聖なるもの〉を撮る』（山川出版社、2023年共編著）、『物語をつくる神話 解剖図鑑』（エクスナレッジ、2024年）、『人間にとって神話とは何か』（NHK出版、2024年）など。

徳野 崇行／とくの たかゆき（駒澤大学教授）

1978年生まれ。駒澤大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了。博士（仏教学）。『日本禅宗における追善供養の展開』（国書刊行会、2018年）、『禅の歴史—曹洞禅の源流を尋ねて』（駒澤大学禅ブランディング事業事務局、2022年共著）など。

岩田 文昭／いわた ふみあき（大阪教育大学名誉教授）

1958年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程学修退学。博士（文学）。『フランス・スピリチュアリズムの宗教哲学』（創文社、2001年）、『近代仏教と青年—近角常観とその時代』（岩波書店、2014年）、『知っておきたい日本の宗教』（共編著、ミネルヴァ書房、2017年）、*Re-Enchanting Education and Spiritual Wellbeing*（分担執筆 London & NY: Routledge, 2017）、『浄土思想』（中公新書、2023年）など。

藤原 聖子／ふじわら さとこ（東京大学大学院教授）

シカゴ大学ディヴィニティ・スクール博士課程修了（Ph. D. History of Religions）。教育関係の著書に『ポスト多文化主義教育が描く宗教—イギリス〈共同体の結束〉政策の功罪』（岩波書店、2017年）、『教科書の中の宗教—この奇妙な実態』（岩波新書、2011年）、『世界の教科書でよむ〈宗教〉』（ちくまプリマー新書、2011年）、『世界の宗教教科書』（共著、大正大学出版会、2008年）、*Peace Education and Religious Plurality: International Perspectives*（共著 London & NY: Routledge, 2008）など。

佐藤 啓介／さとう けいすけ（上智大学大学院教授）

1976年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。『死者と苦しみの宗教哲学—現代宗教哲学の可能性』（晃洋書房、2017年）、『いまを生きるための倫理学』（共著、丸善出版、2019年）など。教育関係の研究に「現代日本においてキリスト教は公共的言説たりえているか—国内大学における全キリスト教科目シラバスのテキストマイニングを通して考える」『日本の神学』63号（日本基督教学会、2024年）など。

第1部会 (2号館4階401教室)

9月15日(月・祝)

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 宗教学をクィアする | 柴田峻太郎 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | 宗教概念批判と教育概念批判ー学問間比較の試みー | 齋藤 崇徳 (社会構想大学院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 日本国内における宗教に関する質問紙調査の内容分析の結果 | 藤井 修平 (國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教研究における「非合理的なもの」について | 宮嶋 俊一 (北大) |
| 5. 10:40-11:00 | ヴェブレンによるアダム・スミス批判とアニミズム | 山崎 好裕 (福岡大) |
| 6. 11:05-11:25 | 人工知能と宗教の説明と理解についての一考察 | 木村 武史 (筑波大) |
| 7. 11:30-11:50 | 文化コモンズの変容とAIの主体化ー日本、宗教、論点整理ー | 濱田 陽 (帝京大) |
| 8. 11:55-12:15 | 大戦前の日本における国民と宗教ー国家神道論再考ー | 竹沢尚一郎 (国立民博) |
| 9. 12:20-12:40 | 日本の神々を記述する方法 | 関 一敏 |

【午後】パネル

宗教学とエラノスの交点と齟齬

代表者：奥山 史亮

13:30-15:10 ルドルフ・オットーとエラノス会議

藁科 智恵 (日大)

エラノス会議におけるエリアーデのシャーマニズム論と大戦の記憶

奥山 史亮 (北海道科学大)

エラノス会議におけるペッタッツォーニ

江川 純一 (東大)

コメンテータ：堀 雅彦 (北海学園大)

司会：奥山 史亮 (北海道科学大)

9月16日(火)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | ゴッホの《ラザロの復活》と太陽 | 正田 倫顕 (尚絅学院大) |
| 2. 9:25-9:45 | コンスタンからレヴィーヘーロマン主義詩人・魔術師の評価再考ー | 田口 哲郎 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | ペルソナと個ーボナヴェントゥラ『命題集注解』をもとにー | 平野和歌子 (龍大) |
| 4. 10:15-10:35 | アンセルムスー贖罪に関する瞑想についてー | 矢内 義顕 (早大) |
| 5. 10:40-11:00 | ミシェル・アンリの生命神学とその情感的意義 | 伊原木大祐 (京大) |
| 6. 11:05-11:25 | ボンヘッフアーにみる人間であることとキリスト者であること | 逢坂 暁乃 (早大) |
| 7. 11:30-11:50 | 法の神学的根拠ー自然法論と法実証主義の間でー | 上原 潔 (大阪産業大) |
| 8. 11:55-12:15 | 超越的実在の光から倫理的個人主義へーロバート・ベラーと神学ー | 宮部 峻 (立命館アジア太平洋大) |
| 9. 12:20-12:40 | ジョン・K・ロスの抗議の神義論をめぐる諸論点 | 南 翔一朗 (南山大) |

【午後】パネル

新興教主義運動の宗教史の変容ーその両極性に着目してー

代表者：深澤 英隆

13:30-15:30 「ゲルマン信仰共同体」における神話化／非神話化の問題

深澤 英隆 (一橋大)

ゲルマン的ネオペイガニズムに見る自己／他者表象の変遷

久保田 浩 (明治学院大)

リトアニアの新異教運動ーその展開と現在ー

後藤 正英 (佐賀大)

文化としてのドルイド、宗教としてのドルイド

河西瑛里子 (国立民博)

コメンテータ：松村 一男 (和光大)

司会：深澤 英隆 (一橋大)

第2部会 (2号館4階402教室)

9月15日(月・祝)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | 宗教と陰謀論の比較検討ー真理性の観点からー | 林 研 (岩手医科大) |
| 3. 9:50-10:10 | カントにおける宗教と信仰の概念ー多義性と発展の理解の試みー | 保呂 篤彦 (筑波大) |
| 4. 10:15-10:35 | ヘーゲル思想における埋葬論のゆくえ | 小柳 敦史 (北海学園大) |
| 5. 10:40-11:00 | キルケゴールにおけるヘーゲル批判と受容 | 小松 優也 (東洋大) |
| 6. 11:05-11:25 | キルケゴール著『キリスト教講話』の霊性理解 | 中里 巧 (東洋大) |
| 7. 11:30-11:50 | キルケゴールにおける自由と悪ードイツ観念論との関係でー | 鹿住 輝之 (立教大) |
| 8. 11:55-12:15 | 神学生時代のキルケゴールによる「奇跡」理解 | 木瀬 康太 (法大) |
| 9. 12:20-12:40 | キルケゴールのアブラハム解釈の余白ー信仰と対話ー | 中路 正恒 (京都芸術大) |

【午後】パネル

井筒「東洋哲学」の立場ー比較宗教思想の視点からー

代表者：澤井 義次

13:30-15:30 井筒俊彦とアンリ・コルバンー二つの歴史観？ー

野元 晋 (慶大)

井筒東洋哲学から読み解くオルテガー生の理性とコトバ

フアン・ホセ・ロペス・パソス (天理大)

井筒俊彦と西谷啓治における「コトバ」の問題の比較

長岡 徹郎 (阪大)

宗教理解への視座ー井筒俊彦とウィルフレッド・C・スミスー

澤井 義次 (天理大)

コメンテータ：鶴岡 賀雄 (東大)

司会：澤井 義次 (天理大)

9月16日(火)

【午前】

- | | | |
|----------------|--|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | はじまりの脱自然化ー宗教学と批判のエートスー | 坪光 生雄 (東大) |
| 2. 9:25-9:45 | コルバンのハイデガー解釈についてーréalité-humaine とは何かー | 宮島 舜 (早大) |
| 3. 9:50-10:10 | ハイデッガーの言葉「ゆえに神は死んでいない」について | 田鍋 良臣 (鳥取大) |
| 4. 10:15-10:35 | 死後の生の宗教哲学 | 古荘 匡義 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | シモーヌ・ヴェイユの宗教観における無神論の位置 | 辻 光一 (京大) |
| 6. 11:05-11:25 | ユダヤ人・女性・最終的解決ーヴァイニンガーの『性と性格』ー | 山城 貢司 (慶大) |
| 7. 11:30-11:50 | 哲学の脱領土化ーレヴィナスと「ユダヤ哲学」の間ー | 若林 和哉 (京大) |
| 8. 11:55-12:15 | V. E. フランクルの「信仰」に関する一考察 | 妹尾 美加 (神戸女学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | フランクルと共苦の思想 | 杉岡 良彦 (京都府立医科大) |

【午後】パネル

戦中から戦後に到る宗教(史)研究ー日本と「東亜」をめぐるー

代表者：飯島 孝良

13:30-15:30 禅文化史観と「大東亜史」ー芳賀幸四郎の戦中と戦後を参照軸にー

飯島 孝良 (花園大)

西谷啓治における「東亜」と「神ながらの道」

齋藤 公太 (北九州市立大)

柳田聖山における戦争体験とその思想への影響

何 燕生 (郡山女子大)

戦中から戦後における家永三郎の時代認識とその仏教史研究の関係

小田 直寿 (大阪電気通信大)

コメンテータ：岩田 文昭 (大阪教育大)

司会：飯島 孝良 (花園大)

第3部会 (2号館4階403教室)

9月15日(月・祝)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-------------|
| 1. 9:00-9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25-9:45 | 新カント派と戦後日本の宗教教育論 | 徳田安津樹(東大) |
| 3. 9:50-10:10 | 和辻哲郎の宗教研究ー『倫理学』を中心にー | 深谷 耕治(天理大) |
| 4. 10:15-10:35 | 新プラトン主義の一者の解釈と体験ー久松真一と山本空外からー | 土井 裕人(筑波大) |
| 5. 10:40-11:00 | 漱石の求めた「春の禅」ー精神分析的・宗教哲学的ー考察ー | 西村 則昭(仁愛大) |
| 6. 11:05-11:25 | 「アレヴィーはシーア派ではない」再考 | 佐島 隆(大阪国際大) |
| 7. 11:30-11:50 | イスラーム哲学における教育論ートゥースィー思想の分析からー | 西山 尚希(東大) |
| 8. 11:55-12:15 | カーリーの信の増減論ー『アクバル注釈』における正当化方略ー | 松山 洋平(東大) |
| 9. 12:20-12:40 | クルアーン日本語翻訳ー訳文と解説ー | 四戸 潤弥(拓殖大) |

【午後】パネル

生長の家・谷口雅春の「実相哲学」の再検討

代表者：喜多 源典

13:30-15:10 谷口雅春と霊性思想

伊藤耕一郎(関西大)

「実相哲学」の新しい理解の試み

喜多 源典(関西大)

「奇跡」の今日的意義を問うー「実相哲学」と体験事例を通じてー

宮本要太郎(関西大)

コメンテータ：小田 淑子

司会：喜多 源典(関西大)

9月16日(火)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | 『ヘルメス文書』『ポイマンドレース』とカルデア配列 | 田代 英樹(西南学院大) |
| 2. 9:25-9:45 | イアンブリコスにおけるイニシエーションとしてのシンボル | 寺島 奈那(早大) |
| 3. 9:50-10:10 | マルシリオ・フィチーノによるイアンブリコス思想の再利用 | 中西 恭子(津田塾大) |
| 4. 10:15-10:35 | タルムードにおける「ユダヤ人」ーキリスト教への応答？ー | 大澤 耕史(中京大) |
| 5. 10:40-11:00 | セックスと嘘とマイモニデス | 法貴 遊(京大) |
| 6. 11:05-11:25 | プロファイト・ドゥラン『異教徒の恥辱』におけるキリスト教論駁 | 志田 雅宏(静岡県立大) |
| 7. 11:30-11:50 | ツヴィ・タウとウリ・シェルキにおけるラヴ・クック受容 | 犬塚 悠太(東大) |
| 8. 11:55-12:15 | ブーバーとベングリオンによる「土地」理解の考察 | 平岡光太郎(同志社大) |
| 9. 12:20-12:40 | メソポタミアの神々の表象 | 細田あや子(新潟大) |

【午後】パネル

「メディア宗教」という視座ー独立系宗教家と近代日本宗教史ー

代表者：赤江 達也

13:30-15:30 「紙上の教会」と「空中の教会」ー塚本虎二の無教会伝道ー

赤江 達也(関西学院大)

石丸梧平の人生創造運動ー仏教的教養・修養・人生論ー

大澤 絢子(東北大)

易道・太虚道・止観ー伊藤延次の宗教遍歴とその終着点ー

木村悠之介(東北大)

高橋正雄個人雑誌『生』の担い手たち

藤井 麻央(大谷大)

コメンテータ：星野 靖二(國學院大)

司会：大澤 絢子(東北大)

第4部会（2号館4階404教室）

9月15日（月・祝）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 戦国から幕藩体制の出雲の領主と神在祭—龍蛇信仰に注目して— | 向山 貴子（総合研究大学院大） |
| 3. 9:50-10:10 | 石田梅岩の三教一致論の偏向から見えるもの | 森 和也（中村元東方研究所） |
| 4. 10:15-10:35 | 近世天皇の葬送と儒教—『家礼』の影響をめぐる— | 松川 雅信（神戸市外国語大） |
| 5. 10:40-11:00 | 正徳四年出羽久保田藩における式内社再興の意図と思想 | 井上 智勝（埼玉大） |
| 6. 11:05-11:25 | 近世中期の式内社比定と由緒—山城国を中心に— | 松本 久史（國學院大） |
| 7. 11:30-11:50 | 柴田花守「文字理非字理問答録」執筆の背景 | 内田 裕一 |
| 8. 11:55-12:15 | 近世真言宗寺院における陰陽道学習 | 小池 淳一（国立歴史民俗博物館） |
| 9. 12:20-12:40 | 渋川春海の暦学と神道 | 林 淳（東洋大） |

【午後】 パネル

-
- | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------------|
| 近世・近代の伝統仏教による教化活動—寺院・少年・女性・青年— | | 代表者：近藤俊太郎 |
| 13:30-15:30 | 近世真宗教団における教化活動とその動揺 | 松金 直美（大谷大） |
| | 仏教日曜学校の指針—無漏田謙恭『日曜学校のすゝめ』を中心に— | 戸田 教敬（立正大） |
| | 仏教女子青年会と機関誌『アカツキ』 | 岩田 真美（大阪大谷大） |
| | 伝統仏教教団による青年教化—真宗本願寺派を中心に— | 近藤俊太郎（龍大） |
| | | コメンテーター：芹口真結子（聖心女子大） |
| | | 司会：近藤俊太郎（龍大） |
-

9月16日（火）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | 近代の宗教者と法制度—近代宗教史の再構築のための基礎整理— | 石原 和（同朋大） |
| 2. 9:25-9:45 | 宗教統一に関する論争—帰一協会の出発点をめぐって— | 王 子銘（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | 近代日本における易学系雑誌の諸相 | 今井 功一（國學院大） |
| 4. 10:15-10:35 | 出口王仁三郎の『靈之礎』の『天界と地獄』からの翻案について | 並木 英子（国際基督教大） |
| 5. 10:40-11:00 | 『通俗医学』誌から見る総力戦体制下の民間精神療法 | 栗田 英彦（佛教大） |
| 6. 11:05-11:25 | 1930年代台湾における敬神思想—『敬慎』の論説を中心に— | 原田 雄斗（國學院大） |
| 7. 11:30-11:50 | 国柱会の分派—精華会の事例から— | 内村 琢也 |
| 8. 11:55-12:15 | 加藤咄堂における終戦—新生日本の「心の新装」と禅・修養— | 山口 陽子（東北大） |
| 9. 12:20-12:40 | 新史料西田天香・勝淳書簡から見える宗教における女性性 | 水野 友晴（関西大） |

【午後】 パネル

-
- | | | |
|---------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 日本のアニミズム的宗教論の系譜をたどる | | 代表者：外川 昌彦 |
| 13:30-15:30 | フェノロサが紹介した宗教進化説とタイラーの宗教論 | 外川 昌彦（東京外国語大） |
| | 井上円了の妖怪学とアニミズム的宗教論の系譜 | 甲田 烈（東洋大） |
| | 姉崎正治の民間信仰論とアニミズム的宗教論の系譜 | 會澤 健裕（中央学術研究所） |
| | 宇野円空の宗教民族学とアニミズム的宗教論の系譜 | 鈴木 正崇（慶大） |
| | | コメンテーター：田中 雅一（国際ファッション専門職大） |
| | | 司会：外川 昌彦（東京外国語大） |
-

第5部会（2号館4階405教室）

9月15日（月・祝）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 近代における「不思議」概念の検討 | 伊藤 優（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | 井上円了の哲学館講義とその影響 | 水谷 香奈（東洋大） |
| 4. 10:15-10:35 | 近代日本の社会事業教育と宗教—東洋大学を事例に— | 高橋 典史（東洋大） |
| 5. 10:40-11:00 | 笠間稲荷における祭事の創設と地域発展—塙嘉一郎に着目して— | 江原 知華（大正大） |
| 6. 11:05-11:25 | 岐神は塞ぐ神か？ | 清水 邦彦（金沢大） |
| 7. 11:30-11:50 | 修験道と民俗学—戸川安章を中心に— | アントニオ・フェルナンデス・カロ（東北大） |
| 8. 11:55-12:15 | 生殖器崇拜と神道の交差—D・C・ホルトムの宗教理解の一側面— | 佐藤 教通（國學院大） |
| 9. 12:20-12:40 | 近代神道・国学史叙述の系譜を辿る—先駆としての山口鋭之助— | 藤田 大誠（國學院大） |

【午後】パネル

人口減少社会における五大都市圏の多宗派寺院調査

代表者：相澤 秀生

13:30-15:30 概要報告

相澤 秀生（愛知学院大）

都市部寺院の実態と特徴

丹羽 宣子（立教大）

教化としての年中行事・法要

川又 俊則（鈴鹿大）

寺院のかかわる葬儀・法事の現状

磯部 美紀（親鸞仏教センター）

大都市寺院における経済状況の実態と特徴

梶 龍輔（駒大）

司会：相澤 秀生（愛知学院大）

9月16日（火）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 平田篤胤・村岡典嗣・日本的キリスト教—村岡論文とその波紋— | 藤原 直美（東大） |
| 2. 9:25-9:45 | キリシタン禁教高札撤去後における葬儀の諸問題 | 内藤 幹生 |
| 3. 9:50-10:10 | エチオピア帝国の近代化と婚姻の比喩 | 加藤 基（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 米国教役者ストージの排日期日本での評価—新聞資料を中心に— | 小前ひろみ（大正大） |
| 5. 10:40-11:00 | ポスト世俗の宗教と文化—福音派ホームスクーリングからの考察— | 佐藤 清子（東大） |
| 6. 11:05-11:25 | 米国プロテスタント左派の草創期 UNICEF への積極的支援 | 宮城 献（プリンストン神学校） |
| 7. 11:30-11:50 | 米国におけるニーバー・リバイバルとその後 | 澤井 治郎（天理大） |
| 8. 11:55-12:15 | 「メシアとしての日本」言説をどう考えるか？ | 藤原 友弥（カリフォルニア大） |
| 9. 12:20-12:40 | 信仰と離反—リバイバル運動としての草津聖バルナバミッション— | 弓山 達也（東京科学大） |

【午後】パネル

宗教団体における実践と論理

代表者：溪 英俊

13:30-15:30 宗教教団における自浄作用とカルト化の抑制論理考

溪 英俊（龍大）

現代社会のなかでの宗教実践のあり方—真如苑の事例から—

堀 玲子（宗教情報センター）

現代社会における宗教的修行をめぐる諸問題

棟高 光生（中山身語正宗教学研究所）

天理教における“事情教会”問題—新たな展開可能性への模索—

金子 昭（天理大）

コメンテータ：西出 勇志（共同通信社）

司会：溪 英俊（龍大）

第6部会（2号館4階406教室）

9月15日（月・祝）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | アーリヤデーヴァとダルマパーラの極微論批判 | 那須 円照（龍大） |
| 2. 9:25-9:45 | 『修習次第経集』に引用される『地藏十輪経』 | 望月 海慧（身延山大） |
| 3. 9:50-10:10 | 金剛般若経注釈文献における「後五百歳」解釈の諸相 | 庄司 史生（立正大） |
| 4. 10:15-10:35 | 朝鮮王朝期に刊行された『持経霊験伝』について | 川上 新二（岐阜市立女子短大） |
| 5. 10:40-11:00 | 古代から中世における紙本表現—宗教造形マテリアル再考— | 神居 文彰（平等院ミュージアム鳳翔館） |
| 6. 11:05-11:25 | 即身成仏思想と天台本覚思想における草木成仏の一考察 | 王 明月（広島大） |
| 7. 11:30-11:50 | 比叡山十二年籠山侍真制の自誓受戒・好相行・好相について | 高松世津子（名大） |
| 8. 11:55-12:15 | 最澄『註無量義経』における「無相不相、不相無相」解釈 | 角田 佑一（上智大） |
| 9. 12:20-12:40 | 『大慈恩寺三蔵法師伝』の伝えるハルシャ王の無遮大施について | 高島 淳（東京外国語大） |

【午後】国際委員会企画パネル

New Directions in the Study of Japanese Religions: Reviewing *New Nanzan Guide*

Convener : Matthew D. MCMULLEN

- | | | | |
|-------------|--|---------------------|------------------------------|
| 13:30-15:30 | On the Production of Knowledge in Japanese Religions | KIMURA Yunosuke | (Tohoku Univ.) |
| | On Space and Environment in Japanese Religions | Carla TRONU MONTANÉ | (Institute of Science Tokyo) |
| | On Feeling and Belonging in Japanese Religions | Ioannis GAITANIDIS | (Chiba Univ.) |
| | On Politics and Governance in Japanese Religions | KATO Masato | (Tenri Univ.) |

Commentator, Chair : Matthew D. MCMULLEN (Nanzan Institute for Religion and Culture)

9月16日（火）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 親鸞『教行信証』引用の『弁正論』について | 朝山 明彦（浄土真宗本願寺派宗学院） |
| 2. 9:25-9:45 | 近世にみられる還相理解の背景 | 徳平 美月（浄土真宗本願寺派宗学院） |
| 3. 9:50-10:10 | 聖徳太子絵伝における前世譚の描写 | 杉浦 敏治（愛知学院大） |
| 4. 10:15-10:35 | 親鸞が語る他者について—聖徳太子をめぐる違和感を手がかりに— | 内記 洸（京都芸術大） |
| 5. 10:40-11:00 | 大正期における仏教者と十七条憲法・研究序説 | オリオン・クラウタウ（東北大） |
| 6. 11:05-11:25 | 法然における念仏と成仏—親鸞「念仏成仏」思想の前提— | 山雄 優生（大谷大） |
| 7. 11:30-11:50 | 東井義雄における教育と親鸞思想 | 山田 智敬（浄土真宗本願寺派宗学院） |
| 8. 11:55-12:15 | 吉本隆明「最後の親鸞」再考 | 名和 達宣（真宗大谷派教学研究所） |
| 9. 12:20-12:40 | 大行寺信暁の『法義和為貴』（法義中よし）著述とその背景 | 那須 英勝（龍大） |

【午後】パネル

バーチャル葬儀のゆくえ—映画で描く近未来像と世界の最新事例—

代表者：瓜生 大輔

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------|
| 13:30-15:30 | デザインフィクション映画制作を通じたバーチャル葬儀のデザイン | 有馬 俊（慶大） |
| | オーストラリアのバーチャル葬儀—「移民の国」での適応状況— | 瓜生 大輔（芝浦工業大） |
| | 台北市における遠隔葬儀参列の現況報告 | 高木 良子（東京科学大） |
| | 遠隔中継技術がつなぐ「距離」—日韓を跨ぐ葬儀中継の経験から— | 金セッピーオル（甲南大） |

コメンテータ：堀江 宗正（東大）

司会：瓜生 大輔（芝浦工業大）

第7部会 (2号館4階407教室)

9月15日(月・祝)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25- 9:45 | 『立正安国論』第七段の解釈をめぐる問題 | 矢吹 康英(日蓮教学研究所) |
| 3. 9:50-10:10 | 日蓮聖人の付嘱論ー『新尼御前御返事』を視点としてー | 清水 祥華(立正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 日蓮における「蛇自識蛇」受容の意義 | 田村 亘禰(立正大) |
| 5. 10:40-11:00 | 日蓮における「無始の古仏」考ー松本史朗氏の論考をてがかりにー | 間宮 啓壬(身延山大) |
| 6. 11:05-11:25 | 近世日蓮教団の本末関係 | 椿澤 玄(立正大) |
| 7. 11:30-11:50 | 京都本法寺史料から見る明治初期日蓮宗の本山制度に関する動向 | 平澤 是芳(立正大) |
| 8. 11:55-12:15 | 近現代日本における仏教信仰ー長谷川かな女についてー | 深谷 恵子(立正大) |
| 9. 12:20-12:40 | 戦前期における日蓮信仰者の言論空間ー雑誌『法華』の分析からー | 大西 克明(創価大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|------------|
| 1. 13:30-13:50 | 災害と宗教 | 野村 任(國學院大) |
| 2. 13:55-14:15 | 能登半島地震・奥能登豪雨からの復興と仏教系 NGO による支援 | 井川 裕寛(淑徳大) |
| 3. 14:20-14:40 | ジェンダー正義の視点からみる宗教間活動 | 三善 恭子(上智大) |
| 4. 14:45-15:05 | 宗教 NGO の人道支援活動における信仰の所在 | 村上 辰雄(上智大) |
| 5. 15:10-15:30 | (発表なし) | |

9月16日(火)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 蘭溪道隆の禅思想 | 和田有希子(早大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 近世期相国寺における入院儀礼 | 金子 奈央(中村元東方研究所) |
| 3. 9:50-10:10 | 「居士禅」の理想像ー山岡鉄舟像の展開を中心にー | 李 詩晴(東北大) |
| 4. 10:15-10:35 | 夢窓疎石における禅と浄土 | 余 新星(花園大) |
| 5. 10:40-11:00 | 近代における記者と仏教 | 武井 謙悟(武蔵野大) |
| 6. 11:05-11:25 | 近代の禅宗と女性ー釈宗演とアイダ・ラッセルの出会いについてー | 竹下ルッジェリ・アンナ(京都外国語大) |
| 7. 11:30-11:50 | 鈴木俊隆の道元理解ー卒業論文の考察ー | 糸川 定伸(愛知学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 高崎修養会の講師たち | 出野 尚紀(東洋大) |
| 9. 12:20-12:40 | 円通『実験須弥界説』を読むー近代的自然観と仏教思想ー | 岡田 正彦(天理大) |

【午後】 発表なし

第8部会（2号館4階408教室）

9月15日（月・祝）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | “スピリチュアル・アート”の展開と受容ー芸術と非芸術の境界ー | 稲村めぐみ（東大） |
| 2. 9:25-9:45 | 映画『スター・ウォーズ』における宗教的側面 | 大前 佑生（聖学院大） |
| 3. 9:50-10:10 | 現代日本の漫画作品における若年層の宗教継承に関する表現 | 坪井 俊樹（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 《世俗》を生きるーオタクの宗教用語使用からの考察ー | 近藤 光博（日本女子大） |
| 5. 10:40-11:00 | 怪異譚にみる〈宗教〉の立場 | 古山 美佳（國學院大） |
| 6. 11:05-11:25 | 水難と怪異の民間伝承ー東南アジア・日本の比較からー | 永原 順子（阪大） |
| 7. 11:30-11:50 | 椿の俗信について | 澤田 洋子 |
| 8. 11:55-12:15 | 万博における日本の自己表象と宗教 | 君島 彩子（和光大） |
| 9. 12:20-12:40 | 国語科教育における神話教材の歴史と現在 | 大澤千恵子（東京学芸大） |

【午後】

- | | | |
|----------------|---------------------------|--------------|
| 1. 13:30-13:50 | 後期近代フランスの禅実践者にみる再帰性 | 輝元 泰文（東大） |
| 2. 13:55-14:15 | SBNRと宗教進化構造ーGIPによる霊性再解釈ー | 久保 隆司（早大） |
| 3. 14:20-14:40 | 神秘的体験の自然主義的理解と意識のハードプロブレム | 沖永 宜司（帝京科学大） |
| 4. 14:45-15:05 | 現代スピリチュアリティ文化における「意識」言説 | 伊藤 雅之（愛知学院大） |
| 5. 15:10-15:30 | メディア化とスピリチュアリティに関する理論的検討 | 山中 弘（筑波大） |

9月16日（火）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 分離と融合、メディア性から考える現代の山岳信仰 | 佐伯 敬史（國學院大） |
| 3. 9:50-10:10 | 佐賀県に伝わる旗占とその意義ー綾部八幡神社を例にー | 谷山ことね（日本女子大） |
| 4. 10:15-10:35 | 地域統合の源泉としての古川祭の機能と「里山」概念 | サゴルセム・マガレイビ（デリー大） |
| 5. 10:40-11:00 | コロナ禍前後の「どんと祭」の変化ー会場と来場者数に注目してー | 高橋 嘉代（宮城学院女子大） |
| 6. 11:05-11:25 | 修験道体験を通じた観光振興についてー奈良県天川村の事例からー | 西谷 瑞希（國學院大） |
| 7. 11:30-11:50 | 寺町における地藏尊の像の場ー仙台新寺・東京谷中寺町の事例ー | アリーセ・ドンネレ（東北学院大） |
| 8. 11:55-12:15 | 台湾原住民族運動会での民族的パフォーマンスとしての宗教儀礼 | 原 英子（岩手県立大） |
| 9. 12:20-12:40 | M. ジャクソンの儀礼研究における再帰的過程について | 森下 三郎（天理大） |

【午後】 発表なし

第9部会（2号館4階409教室）

9月15日（月・祝）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | 解散命令下の協力聖職者と西本願寺・神社本庁・金光教の対応 | 別府 良孝 |
| 3. 9:50-10:10 | 明治中期における仏教教団と「布教」の模索 | 辻岡 健志（宮内庁） |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教法人売買後の法人運営と運営者の宗教意識 | 武井 順介（立正大） |
| 5. 10:40-11:00 | 不活動宗教法人の対策史 | 大澤 広嗣（文化庁） |
| 6. 11:05-11:25 | 霊感商法における「不安」とは何か？－消費者委員会資料の分析－ | ヤニス・ガイタニディス（千葉大） |
| 7. 11:30-11:50 | 日本宗教界による1970年前後の入管法案反対運動 | 荻 翔一（日本学術振興会） |
| 8. 11:55-12:15 | 今日の「宗教離れ」は何故に起こる－減少傾向にある宗教教団－ | 高橋 勝幸 |
| 9. 12:20-12:40 | 現代沖縄の行政と風水との関係 | 鈴木 一馨（鶴見大） |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------|
| 1. 13:30-13:50 | 宇宙神道・神道産土会の成立展開－地方小教団の一事例として－ | 隈元 正樹（東洋大） |
| 2. 13:55-14:15 | 経営哲学としての「かしもの・かりもの」 | 村山 元理（駒大） |
| 3. 14:20-14:40 | “政教分離、後の創価学会－1970年代を中心に－ | 森嶋 繁嗣（上智大） |
| 4. 14:45-15:05 | オウム真理教事件以後30年間のメディア報道と社会の動向 | 塚田 穂高（文教大） |
| 5. 15:10-15:30 | （発表なし） | |

9月16日（火）

【午前】

- | | | |
|----------------|------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | 現地適応と個別のカトリシズムの考察－東南アジアを事例に－ | 岡光 信子（中央大） |
| 3. 9:50-10:10 | イスラームの除霊儀礼－インドネシアのルキヤを事例に－ | 荒木 亮（宗教情報センター） |
| 4. 10:15-10:35 | 現代ドイツ語圏改宗ムスリムにおける個人化された宗教実践 | 和田 知之（東大） |
| 5. 10:40-11:00 | 観光政策に見るサウジアラビアのイスラームの現在地 | 高尾賢一郎（中東調査会） |
| 6. 11:05-11:25 | スピリチュアルケアとしてみたグアテマラ・マヤ民族の祈祷 | 大村 哲夫（上智大） |
| 7. 11:30-11:50 | カバディの宗教性とその伝承に関する一考察 | 金澤 豊（仏教伝道協会） |
| 8. 11:55-12:15 | グジャラートのパンディット・ユガにおける保守改革思想 | 間 永次郎（滋賀県立大） |
| 9. 12:20-12:40 | 佐保田鶴治のヨーガ実践－仏教とインド哲学の狭間で－ | 山下 博司（東北大） |

【午後】 発表なし

第10部会 (2号館4階410教室)

9月15日(月・祝)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25- 9:45 | 法話から見る葬儀の実態―僧侶向けウェブ調査から― | 小川 有閑 (大正大) |
| 3. 9:50-10:10 | 葬送儀礼の地域差とその機能―僧侶向けウェブ調査からの分析― | 高瀬 顕功 (大正大) |
| 4. 10:15-10:35 | 曹洞宗の没後作僧について | 菅原 研州 (愛知学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | 作り手側から見る現代日本の「エンディングドレス」 | 岸根 紗葵 (上智大) |
| 6. 11:05-11:25 | Material Religion 研究からみた戦後日本の先祖祭祀 | 問芝 志保 (東北大) |
| 7. 11:30-11:50 | 仏壇の職人から見る祖先崇拝の死と再生 | ティム・グラフ (金沢大) |
| 8. 11:55-12:15 | モノの廃棄をめぐる現代宗教論の可能性 | 村上 晶 (駒大) |
| 9. 12:20-12:40 | 金写真位牌株式会社を通して見る近代日本の死者供養と関連産業 | 土居 浩 (ものづくり大) |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 13:30-13:50 | 新たな葬送に求められる機能と役割 | 谷山 昌子 (東京科学大) |
| 2. 13:55-14:15 | 正教徒の追悼実践にみるローカル化の諸相―東北地方の事例から― | 佐崎 愛 (東北大) |
| 3. 14:20-14:40 | 英国国教会発 Grave Talk による死を語る文化の醸成 | 高多 留美 (上智大) |
| 4. 14:45-15:05 | 朝鮮戦争民間人犠牲者の追悼をめぐる事業の現況についての考察 | 田中 悟 (摂南大) |
| 5. 15:10-15:30 | (発表なし) | |

9月16日(火)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 橋本徹馬と紫雲山地蔵寺―水子供養運動の始まりをめぐって― | 郭 立東 (東大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 障害児の中絶・看取りとヒルコ神信仰―子安神社葦船社の事例― | 淵上 恭子 |
| 3. 9:50-10:10 | 救急医療現場で働く医師の死生観と「医学の哲学」 | 川崎 磨美 (東北大) |
| 4. 10:15-10:35 | 日常生活を基点とした死生観―生きられた宗教・認知を軸として― | 土居 由美 (神奈川大) |
| 5. 10:40-11:00 | 穢れの再解釈 | 金田 伊代 (京大) |
| 6. 11:05-11:25 | 欧米における無宗教チャプレンの展開―日本との比較から― | 山本佳世子 (天理大) |
| 7. 11:30-11:50 | アニミズムという反脳死論 | 鶴沢 祐汰 (東大) |
| 8. 11:55-12:15 | 臨死体験は自殺抑止力としてはたらき得るか? | 岩崎 美香 (明大) |
| 9. 12:20-12:40 | 〈ラルシュ〉共同体運動の日常から考えるケア学と平和学 | 寺戸 淳子 (国際ファッション専門職大) |

【午後】 発表なし

録画発表部会 9月14日(日)～23日(火・祝)

本部会では発表者が作成した発表動画のリンクを集約・共有し
Slack のチャンネル機能を用いて質疑応答を行います
詳しくは個人発表の募集要項 (<https://bit.ly/ko-yoko-84>) をご覧ください
学会参加申込者には、事前に Slack への招待と動画の URL が送られます

【第1チャンネル】

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. ラビ文献中にみる共生の諸相ー「サーカス」「競技場」を中心にー | 勝又 悦子 (同志社大) |
| 2. アレイト・バーケーデヴォーチオ・モデルナの中の神秘主義ー | 菊地 智 (ルーヴェン・カトリック大) |
| 3. アガペーとエロスーフロイト精神分析思想における「愛」の意味ー | 田口 博子 (白百合女子大) |
| 4. ルイーゼ・リンザー『波紋』における虚空の場所の宗教学的意味 | 町田 りん (上智大) |
| 5. ドゥブレ法の再争点化に見るフランスの新しいライシテの論理 | 伊達 聖伸 (東大) |

【第2チャンネル】

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 西域・草原文化における龍の図像変容 | 劉 玉潔 (関西大) |
| 2. 『経正詣仁和寺宮図』に表された平家物語の宗教性とその受容 | 小堀 馨子 (帝京科学大) |
| 3. 明治期における神道丸山教会の財政問題と世直し思想 | エイヴリ・モロー (ブラウン大) |
| 4. 池袋氷川神社富士塚の石造物 | 大谷 正幸 |

【第3チャンネル】

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 日本におけるヴェーダーンタ受容の複数の枠組 | 宮崎 雪子 (上智大) |
| 2. 鈴木ピアトリスと神智学的ユニヴァーサルリズム | 日沖 直子 (天理大) |
| 3. モンゴルにおける仏教受容の一側面 | 阿部 真也 (大正大) |
| 4. 『中華道蔵』における「法華」と「法華経」という表現の受容 | 白 景皓 (身延山大) |

【第4チャンネル】

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| 1. 湛然研究の問題点ー柏倉明裕氏への再反論ー | 長倉 信祐 (富士学林) |
| 2. 日蓮伝記と旗曼荼羅について | 望月 真澄 (身延山大) |
| 3. 還相回向表現説の再検討 | 逸見世自在 (龍大) |
| 4. テルマ (gter ma) と埋経ーチベットと日本における末法思想ー | 槇殿 伴子 (身延山大) |

【第5チャンネル】

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 現代日本人の安楽死に対する意識の諸相ー計量テキスト分析からー | 横濱佑三子 (上智大) |
| 2. 宗教は悲嘆に何をもたらすのかー質的研究が示す信仰の役割ー | 小野 顕一 (上智大) |
| 3. 死者 AI をめぐる諸ガイドラインの検討ー国内外の事例からー | 佐藤 啓介 (上智大) |
| 4. 臨床牧会教育の創始者 Anton Boisen の生涯と思想 | 葛西 賢太 (上智大) |
| 5. 高齢者施設における死者儀礼の実践と課題 | 山田 慎也 (国立歴史民俗) |

『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

個人発表（対面／録画）・パネル発表共通

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 大会ホームページの「別冊要旨・入力ファイル」のバーからダウンロードした『宗教研究』99巻別冊要旨・入力ファイル（Word）に入力した要旨を9月21日（日）までにメールの添付ファイルで送信し
- ② 提出原稿の書式が規定にそっている方。
発表題目はプログラムと同一にしてください。理事会承認後の発表題目の変更は一切認められません。
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

① 締切日：9月21日（日）（受付開始：8月20日）

送信先：『宗教研究』編集委員会 【注意】パネル発表のみ、送信先のメールアドレスが異なります。

個人発表（対面／録画） ja-religion(at)mub.biglobe.ne.jp (at)を@に変えて送信してください。

パネル発表 jars.secretariat(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

（受信した順に、添付ファイルを開き、作業を行うため、返信が翌日以降になることがあります）

② 提出原稿の書式 規定にそっていない場合は掲載できません

・日本語の要旨

縦書き 40字×40行以内（文字数ではありません）

文字サイズ：10.5 日本語のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

縦書きのため、邦文は原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

・英語の要旨

横書き 650 words 以内。文字サイズ：10.5 フォント：Century（太字の使用は不可）

・日本語の要旨、英語の要旨共通

注記、参考文献一覧、付記は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する）。図表等の掲載は不可。

「入力ファイル」のページ設定の変更は不可。

母語でない要旨を提出する方は、個人発表は本人の責任で、パネル発表は代表者の責任で、必ず、ネイティブチェックを受けてください。編集委員会は、提出された要旨をそのまま掲載します。

・個人発表（対面／録画）

日本語による発表者の要旨は日本語。

英語による発表者の要旨は日本語または英語（日本語で提出した場合もタイトル・氏名は英語）。

・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」（代表者が執筆）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメントータ）を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

外国語による発表者を含まないパネルは、日本語で統一すること。

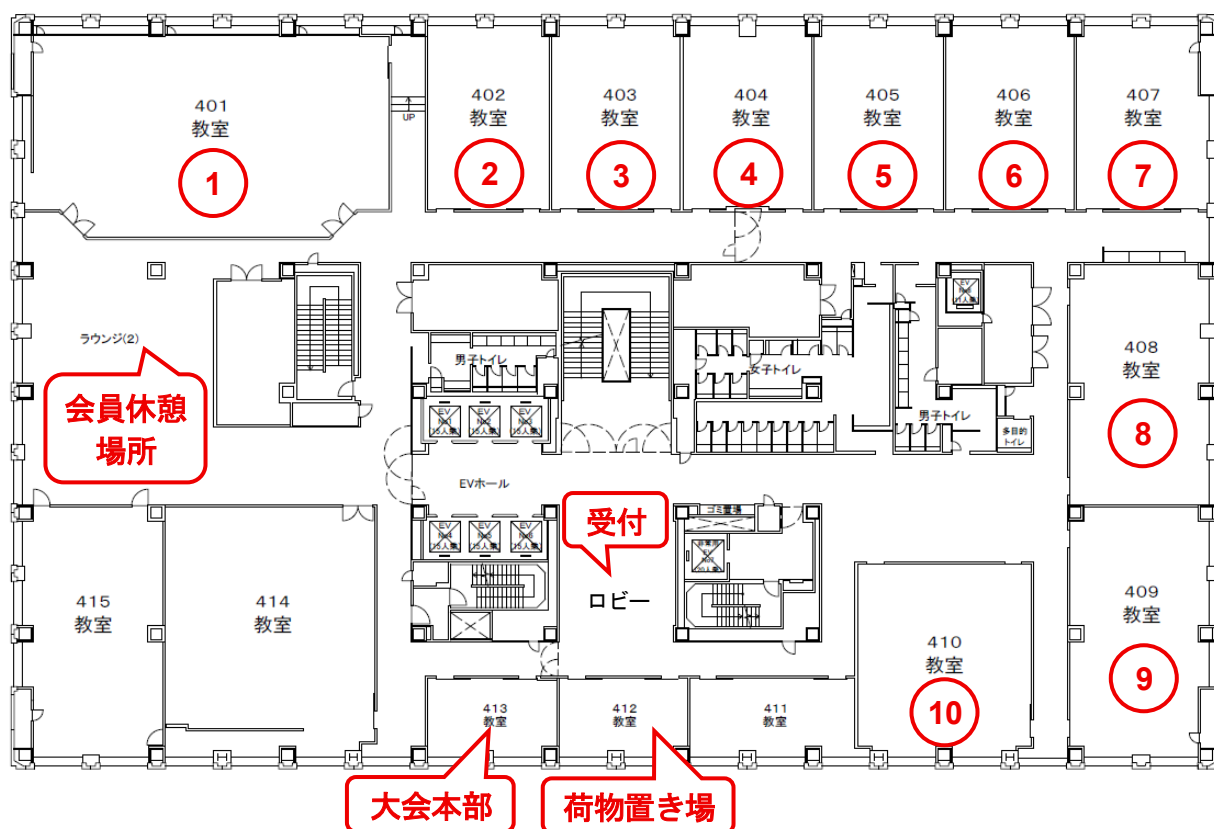
・欧文タイトル

英語、独語の場合は、邦文題目に照らしてネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

9月21日（日）までに、『宗教研究』編集委員会に送信されなかった場合は、掲載不可となります。

いかなる事由であっても（自然災害を含む）、発表を行わなかった人の要旨は掲載できません。提出された要旨の変更および取り下げは認められません。

『宗教研究』編集委員会



2号館4階 (9/15-16日 研究発表ほか会場。○数字が各部会)



6号館3階 307 教室 (2日目会員総会会場)

2～3日目受付



上智大学四谷キャンパス 構内地図

1日目会場（9月14日（日）理事会、公開シンポジウム、評議員会会場）の10号館はザビエル像が目印です。



上智大学近辺

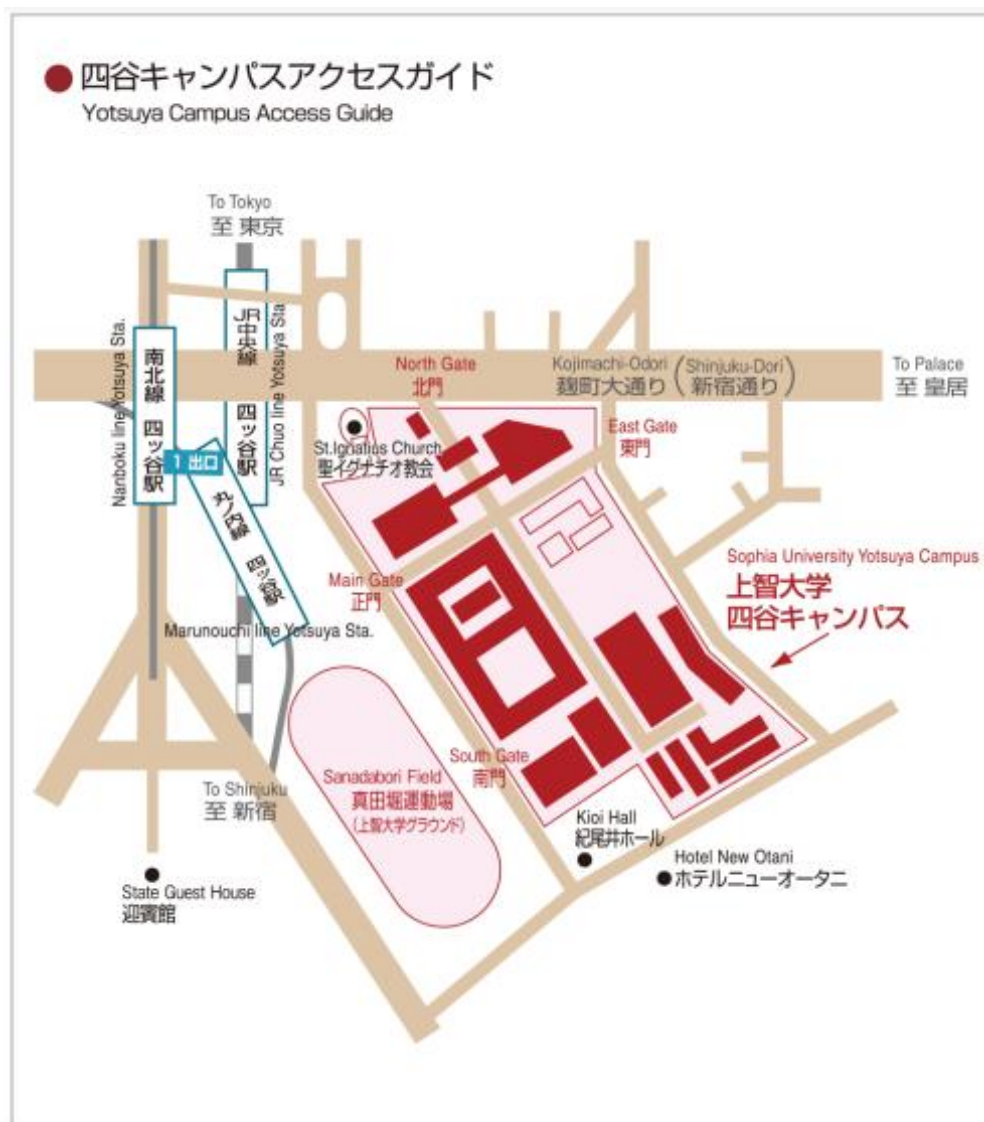
飲食店街地図

飲食店は、四ツ谷駅対岸のしんみち通り近辺に多く集まっています。また、コモレ四谷という大きな建物に、スーパーマーケット（LIFE）や、多くの飲食店が入っています。学内のセブンイレブンは営業していません。

会場 上智大学 四谷キャンパス（東京都千代田区紀尾井町 7-1）

アクセスマップ

https://adm.sophia.ac.jp/jpn/campus_kengaku_ad/kengaku_yotsuya/#03



◆アクセス：四ツ谷駅（JR 中央線・総武線／東京メトロ 丸ノ内線・南北線） 麹町口・赤坂口より徒歩 5 分

日本宗教学会 第 84 回学術大会実行委員会

E-mail : jars84th(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

HP : <https://jpars.org/conference/>